

---

## 資料編

---

## CSRマネジメント推進フォーラムの活動記録

会 期	討議テーマ・狙い	成 果
<b>第1回</b> 2004年11月29日(月) 14:30～17:30 (会場:JMA206研修室)	討議テーマの検討《年間テーマを決定》	<b>参加:37名</b> 「CSRマネジメント推進フォーラムの基本的な考え方」
<b>第2回</b> 2005年1月26日(水) 14:00～18:00 (会場:三田NNホール)	CSRの基本的考え方 ―CSR課題の自己評価― 《CSRイノベーションを使って自社のCSRを確認する》 ○ゲストスピーカー: 石田 寛 経済人コー円卓会議(CRT) 日本委員会事務局長	<b>参加:40名</b> 「CSRマネジメントの考え方」、 「CSRイノベーション集計結果」、 「CSRイノベーションの分析について」
<b>第3回</b> 2005年2月10日(木) 14:00～17:00 (会場:プラザエフ)	CSRマネジメント体制とインフラ整備 ○スピーカー: 中丸 進 (株)リコー CSR室 審議役 (フォーラム主査) 鎗野 達男 帝人(株) 理事 環境・安全室 室長 酒井 剛 (株)資生堂 CSR部 参与	<b>参加:30名</b> 「CSRマネジメント体制とインフラ整備／(株)リコー、帝人(株)、(株)資生堂」
<b>第4回</b> 2005年3月1日(火) 14:00～17:00 (会場:プラザエフ)	ステイクホルダー分析 《有効なステイクホルダー分析の方法を考える》 ○ゲストスピーカー: 鷹野 秀征 (株)創コンサルティング シニアマネジャー	<b>参加:29名</b> 「ステイクホルダー分析の進め方」
<b>第5回</b> 2005年4月21日(木) 14:00～17:00 (会場:JMA206研修室)	CSRリスク・社会影響評価 《ステイクホルダーとの関係において、自社のCSR上の強み・弱みを確認できるCSRリスク・社会影響評価基準を考える》 第4回に続いて、本業のプロセス毎にステイクホルダーの要望・期待などを加味し、自社の特徴が浮き彫りになるようなCSRリスクや機会、事業が与え社会影響評価の基準などを考えた。	<b>参加:24名</b> 「ステイクホルダー分析」 (一次案) 「社会影響評価」(一次案)
<b>第6回</b> 2005年5月31日(火) 14:00～17:00 (会場:JMA206研修室)	メンバー企業によるCSRリスク・社会影響評価トライアル メンバー企業数社の課題分析(ステイクホルダー、社会影響評価、その他)の事例発表を通して、取り組みに関する課題や工夫、あるいは推進者としての悩みを共有したうえで、企業理念・ビジョンとの関連性や自社のCSRの特徴が浮き彫りになり、以降のCSRマネジメント構築の議論を深め、評価ツールの精度を高めた。 ○スピーカー ①片倉 宏一 富士ゼロックス(株) CSR部 ②西面 和巳 イオン(株) 環境社会貢献部SAプロジェクト ③吉田 潤 アサヒビール(株) 総合支援本部品質保証部プロデューサー ④野田 健太郎 日本政策投資銀行 政策企画部課長	<b>参加:25名</b> 「ステイクホルダー分析」 (二次案) 「社会影響評価」(二次案) <発表資料> ①「SDD表を使った新しいCSRマネジメントシステム構築への挑戦～」②「国際規格SA8000取組みと国連グローバルコンパクトの今後の展開」③「アサヒビールにおけるCSRの取り組みについて」④「環境配慮型経営促進事業」説明資料

## CSRマネジメント推進フォーラムの活動記録

会 期	討議テーマ・狙い	成 果
<b>第7回</b> 2005年6月24日(金) 14:00～17:00 (会場:プラザエフ)	<b>CSRマネジメント構築の考え方、進め方についての検討</b> 既存のCSRマネジメント規格・基準やISO化を踏まえた「CSRリスク評価」(たたき台)を検討する。実際にメンバー企業でトライアル導入を検討してもらった。 ○スピーカー 遠藤 直美 日本電気(株) CSR推進本部エキスパート 中川 優 (社)日本能率協会 CSR経営推進室長	<b>参加:24名</b> 「内部調査」(一次案) <発表資料> 「NECのCSRの取り組みについて」
<b>第8回</b> 2005年7月20日(水) 14:00～17:00 (会場:JMA206研修室)	<b>CSR調査の進め方と課題の把握の最終確認</b> メンバー企業が「CSRリスク評価」をトライアル導入(一部又は全部)し、その成果・経過を検証することで、より実践的な「評価ツール」へと改善した。 ○スピーカー 鎗野 達男 帝人(株) 理事 環境・安全室 室長	<b>参加:27名</b> 「ステイクホルダー分析」 (最終案) 「社会影響評価」(最終案) 「内部調査」(最終案)
<b>第9回</b> 2005年9月21日(水) 14:00～17:00 (会場:JMA204研修室)	<b>CSR教育の実施 《CSRを全社員にどう浸透させるか》</b> CSRを全社員にいかに浸透させるかを考え、教育のポイントなどを議論した。 ○スピーカー 栗田 宏文 (株)損保ジャパン CSR・環境推進室	<b>参加:22名</b> <発表資料> 「損保ジャパンの考えるCSR教育」
<b>第10回</b> 2005年10月11日(火) 14:00～17:00 (会場:JMA204研修室)	<b>《CSR報告書の事例研究と社内の巻き込み》</b> GRIガイドライン最新動向、及びCSR報告書の活用による社内への浸透などを事例研究し、CSRマネジメント導入時の社内共通課題について議論した。 ○スピーカー ①井上 紀文 マツダ(株) 業務管理本部 総務部 リーダー ②浜岡 伸夫 (株)日立製作所 CC本部 CSR推進部 主任技師 ③平澤 由美 東京ガス(株) 広報部 CSR室 担当課長 ④海野 みづえ (株)創コンサルティング 代表取締役	<b>参加:19名</b> <発表資料> ①「CSR経営推進協議会開催の報告」、②「日立グループCSR報告書2005」の概要、 ③「東京ガスCSR報告書2005」、 ④「2006年版改訂(G3)の方向」
<b>訪欧調査</b> 2005年10月30日(日) ～11月6日(日)	<b>CSR訪欧調査団</b> DTI、サステナビリティ社、ボーダフォン、CSRヨーロッパ、ユニバーバ等8機関の現地調査を行った。  ※本ガイド9頁「M 海外動向」参照	<b>参加:14名</b> 団長:谷本委員長
<b>中間報告</b> 2005年11月24日(木) 13:30～17:00 (会場:経団連会館)	<b>《中間報告会》</b> 第1～10回までのフォーラム成果を中間報告した。 海野 みづえ (株)創コンサルティング 代表取締役 宮川 準 (株)日本能率協会総合研究所 主任研究員 遠藤 直見 日本電気(株) CSR推進本部 エキスパート 片倉 宏一 富士ゼロックス(株) CSR部 企業推進グループ 井上 紀文 マツダ(株) 業務管理本部 総務部 リーダー	<b>参加:290名</b>

会 期	討議テーマ・狙い	成 果
<p><b>第11回</b> 2005年12月2日(金) 14:00～17:00 (会場:JMA204研修室)</p>	<p>《CSRマネジメント運用・測定とコミュニケーション》</p> <p>訪欧調査団、中間報告会のレビューを行ったうえで、CSRマネジメントの測定とコミュニケーションに焦点を当てて議論した。</p> <p>○スピーカー 海野 みづえ (株)創コンサルティング 代表取締役</p>	<p><b>参加:22名</b></p> <p>&lt;発表資料&gt; 「CSRリスクの洗い出しとCSRアクションプラン作成」</p>
<p><b>第12回</b> 2006年1月25日(水) 14:00～17:00 (会場:JMA204研修室)</p>	<p>《全体まとめ ガイド(案)の検討》</p> <p>メンバー企業を対象とした「ステイクホルダー分析」の導入事例を集計・評価し、5業種別にその特性を整理した。また最終報告する「CSRマネジメント実践のガイド(案)」の内容について具体的に検討した。</p>	<p><b>参加:20名</b></p> <p>&lt;発表資料&gt; 「SH分析事例まとめ」 「CSRマネジメント実践のガイド(案)」</p>

CSR経営推進協議会メンバーリスト

(敬称略・会社名五十音順)  
2006年3月28日現在

	会社名	氏名	役職
委員長	一橋大学	谷本 寛治	大学院商学研究科教授
副委員長	株式会社イトーヨーカ堂	稲岡 稔	常務取締役総務本部長
顧問	富士ゼロックス株式会社	小林 陽太郎	取締役会長
委員	アサヒビール株式会社	名倉 伸郎	執行役員(総務法務・社会環境推進担当)
	アンリツ株式会社	橋本 裕一	常務取締役上席常務執行役員
	イオン株式会社	上山 静一	環境・社会貢献部部長
	株式会社伊勢丹	川野辺 浩司	CSR担当長
	伊藤忠商事株式会社	藤田 純孝	代表取締役副社長
	NECソフト株式会社	牧野 英克	執行役員
	株式会社NTTデータ	井上 裕生	取締役常務執行役員総務部長財務統括担当 (CFO)リスク管理統括担当(CRO)
	株式会社NTTDコム	田中 一俊	社会環境推進部長
	オリックス株式会社	浦田 晴之	社長室長
	株式会社ジェイティービー	井本 博幸	取締役総務部長
	塩野義製薬株式会社	小松 聰司	執行役員 総務人事部長
	株式会社資生堂	大矢 和子	執行役員CSR部長
	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	萬歳 教公	専務取締役専務執行役員総務本部長 兼中国室長
	株式会社損害保険ジャパン	佐藤 正敏	取締役常務執行役員
	中外製薬株式会社	田中 浩	社会責任推進部長
	帝人株式会社	河井 隆雄	帝人グループ理事CSR室長
	東京ガス株式会社	後藤 隆司	コンプライアンス部長
	東京電力株式会社	水谷 克己	常務取締役
	東レ株式会社	太田 進	経営企画室担当部長
	凸版印刷株式会社	萩原 恒昭	法務本部長
	日本精工株式会社	谷川 紀彦	執行役常務 コンプライアンス本部長 コーポレート経営本部副本部長兼事業企画部長
	日本政策投資銀行	古宮 正章	政策企画部長
	日本電気株式会社	櫻井 勝	執行役員常務
	株式会社博報堂	姫井 節夫	広報室長
	東日本旅客鉄道株式会社	大和田 徹	取締役総合企画本部経営企画部長
	株式会社日立製作所	熊谷 一雄	特命顧問
	株式会社ベネッセ コーポレーション	松本 芳範	執行役員常務(人事、総務、法務、 コンプライアンス、広報、IR担当)
	ボーダフォン株式会社	吉岡 修一	法務・渉外本部 コンプライアンス&情報管理推進室室長
	株式会社ホテルオークラ東京	折戸 利充	取締役管理部長
	松下電器産業株式会社	上野 治男	客員
	マツダ株式会社	田中 和彦	執行役員業務管理本部長
	株式会社みずほ銀行	西浦 三郎	取締役副頭取
	サン マネージメント インスティテュート	中丸 進	代表(前・株式会社リコー 審議役)
事務局	社団法人日本能率協会	杉本 守孝	理事・マネジメント革新推進本部長
	社団法人日本能率協会	中川 優	ISO・マネジメントシステム事業部長

## CSRマネジメント推進フォーラムメンバーリスト

(敬称略・会社名五十音順)  
2006年3月28日現在

	会社名	氏名	役職
主査	サン マネージメント インスティテュート	中丸 進	代表(前・株式会社リコー 審議役)
テクニカル アドバイザー	株式会社創コンサルティング	海野 みづえ	代表取締役
メンバー	アサヒビール株式会社	吉田 潤	総務法務部プロデューサー
	アンリツ株式会社	江頭 進	CSR推進室課長
	イオン株式会社	西面 和巳	環境・社会貢献部SA8000推進プロジェクト
	株式会社伊勢丹	川野辺 浩司	CSR担当長
	伊藤忠商事株式会社	中村 政樹	CSR・コンプライアンス統括部CSR推進室長
	NECソフト株式会社	中戸川 浩	総務部長兼法務知的財産部長
	株式会社NTTデータ	大沢 健次	総務部社会貢献推進室長
	株式会社NTTドコモ	田畑 政和	社会環境推進部CSR企画担当課長
	オリックス株式会社	中根 幸子	社長室広報グループ
	株式会社ジェイティービー	村上 道夫	総務部法務室課長
	塩野義製薬株式会社	武田 恵一	総務人事部次長
	株式会社資生堂	磯田 篤	CSR部課長
	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	伊藤 利彦	社会文化開発部CSRオフィサー
	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	白石 陽一	法務部 グループ法務担当シニアオフィサー
	株式会社損害保険ジャパン	関 正雄	CSR・環境推進室長
	中外製薬株式会社	平野 学	社会責任推進部課長
	帝人株式会社	河井 隆雄	帝人グループ理事CSR室長
	東京ガス株式会社	島田 崇	広報部
	東京電力株式会社	磯輪 潔	総務部部长
	東レ株式会社	太田 進	経営企画室担当部長
	凸版印刷株式会社	山本 正己	法務本部コンプライアンス部課長
	日本精工株式会社	小林 直子	コンプライアンス本部国際通商部 兼CSR推進チーム
	日本政策投資銀行	野田 健太郎	政策企画部課長
	日本電気株式会社	遠藤 直見	CSR推進本部エキスパート
	株式会社博報堂	秋永 暁	広報ディレクター
	東日本旅客鉄道株式会社	一ノ瀬 俊郎	総務部次長(総務・秘書)
	株式会社日立製作所	新野 聡	コーポレート・コミュニケーション本部 CSR推進部長
富士ゼロックス株式会社	片倉 宏一	CSR部企画推進グループ	
株式会社ベネッセコーポレーション	増本 勝彦	広報・IR部長	
株式会社ホテルオークラ東京	服部 崇	営業企画部広報課長	
マツダ株式会社	井上 紀文	業務管理本部総務部リーダー	
事務局	社団法人日本能率協会	中川 優	ISO・マネジメントシステム事業部長